

平戸市 議会だより

CONTENTS

この
い
せ
ん

9月定例会

- 2… 9月定例会ここに注目!
- 5… 議決された案件と結果
- 6… 可決された意見書／決算特別委員会の設置
- 7… 所管事務調査中間報告(産業建設文教委員会)
- 8… 行政視察報告(議会運営委員会)
(議会広報特別委員会)
- 9… 一般質問
- 12… 平戸のチカラ



田助ハイヤ節保存会 紙の会のみなさん(平戸港夏まつり花火大会にて)

vol.86
令和6年(2024年)
11月1日発行

とかいせん



このコーナーでは、平戸市で活躍する人や団体にスポットをあて、紹介をしていきます。

まるた あずさ
丸田 安寿彩 さん (31)

【平戸市職員(岩の上町)】

「入庁のきっかけは“人の役に立ちたい”その思いからでした」こう話すのは、市役所に入庁して8年目となる丸田さん。今年度から企画課地域振興班に配属となり、まちづくり運営協議会の支援などの業務を担当している。

この半年間は「関係者に顔と名前を覚えてもらつぐらいで現在は課題を把握する段階」と謙虚に話す丸田さんが、「今後ニーズを捉え事業に反映させることができたら」「年代的に後輩の育成に力を入れなければならないと思っている」と頗もしい姿も見せてくれた。



一児の母でもある丸田さん。急に休むこともあるため、段取りを立て計画的に仕事に当たるようにしているという。
※写真右は上司の植野さん

感謝されることよりも寄り添って

そんな丸田さんが、入庁時に抱いた『人の役に立ちたい』という思いが試された場面があったと話す。聞けばそれは、人事異動により税務課配属となったことがきっかけだった。「人の役に立つことイコール、人に感謝されることだと思っていたが、必ずしもそうではないことを実感しました」

自問自答しながら業務に当たる中、自分なりに導き出した答えは『人に感謝されなくともその人にしっかりと寄り添う』ことだったという。

この考えは、現在も仕事をする上での基礎になっていると話してくれた。

毎週火曜日・金曜日に田助ハイヤ節伝承館で練習をしています。興味がある方はぜひ見学に来てください。

広報特別委員会

委員長 針尾 直美
副委員長 松口 茂生
委 員 綾香 良浩
委 員 池田 稔巳
委 員 山内 貴史

編集・発行: 平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170 FAX22-3427 E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp

田助ハイヤ節継承者として的一面

丸田さんは、平成20年に長崎県の無形民俗文化財に登録された『田助ハイヤ節』の継承者としての顔も持つ。

この伝承をこれまでライフワークとしてきたのが、丸田さんの祖母、土肥泰子さん(元・田助ハイヤ節保存会会長)だ。

祖母の影響もあり、幼い頃から田助ハイヤ節の三味線奏者として活動してきた丸田さん。進学を機にしばらくの間、平戸市から離れていたが、帰郷後は再び、導かれるように田助ハイヤ節に携わることとなる。

現在は、三味線だけでなく唄も担当し、『田助ハイヤ節保存会』の中でも、唄と踊り、三味線・太鼓などの演奏を熱心に練習するメンバーで構成される『紙の会』の中心人物として、各種イベントなどに出演している。

「仕事と同様、これからは教える立場。後進の育成に取り組みたい」と話すとおり、実際に後進の指導に当たる姿や、一連の所作には、まさに次代の『継承者』の自覚と誇りが現れていた。

伝統芸能の継承は、一朝一夕にしてならず、当代の継承者にそれ相応の重責が伴うことは容易に想像がつく。

近年では、若年層を中心に、合理性を突き詰め、個人の幸せを追求しようとする価値観が浸透していると言われる中、丸田さんのように活動する人材は貴重だ。

田助ハイヤ節への思いと、培ってきた技術、何よりも強い使命感がこの活動を支えている。

祖母が捧げた情熱は、ここに確かに継承されていた。



紙の会メンバーとともに練習に励む丸田さん(写真中央)
三味線を構えた途端、一気に表現者の顔へと変わった。

編集後記

だんだんと気温も下がり、朝晩と肌寒くなってきました。秋は多くの作物が実り、気候も良くなつて食欲が増すという意味で広く知られています。

また、この季節は秋の大祭があり、収穫を感謝して奉納される「おくんち」がそれぞれの地域で行われ、賑わいをみせています。

今号は伝統芸能への継承・伝承に焦点を当て、先人たちが築いた芸能を次世代へ伝承するための難しさや苦悩に、仕事や子育てをしながら立ち向かい努力する若者を取材しました。

田助町に伝わる無形民俗文化財の田助ハイヤ節。田助港は、かつて風待ち・潮待ちをする船で栄えており、この田助港で発祥したと考えられる「ハイヤ節」は江戸時代後期にはすでに成立していたと言われています。また、平戸にはその他、市内各地区に脈々と受け継がれてきた伝統芸能が数多くありますが、どれも地域の人たちが長年にわたり守り抜いてきた特色ある芸能です。これらを後世に継承するための取り組みを、私たちも皆さんと共に支え、共に伝えていきたいと思います。(山内 貴史)

平戸市議会

検索

市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。

